

第2次

熊本市食の安全安心・食育推進計画

(平成25年度～平成30年度)



食べることは、
生きること。

KUMAMOTO CITY



平成25年3月

熊本市

ごあいさつ



「食」は、私たちの生命の源であり、心を豊かにするとともに地域の文化や伝統を育み、郷土の経済を支える役割を担うなど、私たちが生きる営みそのものです。また、健全な食生活は、生涯にわたって健康でいきいきと暮らしていくうえでの基礎となるものです。

しかしながら、「食」を取り巻く状況は、食品流通のグローバル化やライフスタイル、価値観の多様化などにより大きく変化してきており、栄養バランスの偏った食生活を一因とする生活習慣病の増加や食の安全安心に対する不安が社会問題となりました。

本市では、平成20年3月に「食」に関する総合的な計画として、「熊本市食の安全安心・食育推進計画」を策定し、「食べることは生きること」をキャッチフレーズとして、生産から流通・消費にいたる関係団体等の協力により、様々な事業を積極的に展開してまいりました。

この間の取組みにより、計画に掲げた成果指標は概ね改善が見られましたが、一方、若い世代での朝食の欠食や糖尿病等の生活習慣病有病者の増加、一人だけで食事を摂る「孤食」の問題などの課題も浮き彫りとなりました。また、食の安全安心の確保を脅かす重大な食中毒事件や食品事業者による不正事件の発生などの影響により、食の安心が実感されない状況も続いています。

この度、現行の計画が終了するにあたり、これまでの事業成果と食をめぐる課題に対し、基本的施策を継承しながら、食を通じた健康づくりの積極的な展開に向けて、「周知から実践へ」をコンセプトとして、「第2次 熊本市食の安全安心・食育推進計画」を策定しました。

今後も、この計画に基づいて、市民の皆様をはじめ関係団体、関係機関と連携・協働しながら具体的な取り組みを展開してまいりたいと存じますので、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、本計画の策定にあたり、ご提言をいただきました「熊本市食の安全安心・食育推進会議」の委員の皆様、並びに「市民アンケート」「パブリックコメント」等を通じて貴重なご意見をいただきました市民の皆様や関係各位に、心から厚くお礼を申し上げます。

平成25年3月

熊本市長 幸山政史

目 次

第1章 計画策定にあたって	
1 策定の背景及び趣旨	2
2 計画の位置づけ	3
3 計画の期間	4
4 本市における関連計画との関係	4
5 計画の基本的な考え方	5
6 計画の体系	7
7 成果指標（第2次計画）	8
第2章 熊本市の食を取り巻く現状	
1 くまもとの食の生産現状	12
2 食の安全・安心の現状	15
3 食生活の現状	21
4 生活習慣病の現状	28
5 食に関わる環境の現状	30
第3章 食の安全・安心の確保	
1 食の安全・安心を確保するうえでの課題	36
2 食の安全・安心を確保するための視点と基本的施策	40
3 「食の安全・安心の確保」に関する施策の体系	42
4 具体的な施策の展開	44
I 生産・流通・消費の各段階における食品の安全性確保	44
II 熊本市独自の食品衛生の確保	55
III 国・県・他市町村・庁内関係部署及び食品関係機関との連携	60
IV 消費者・生産者・食品関連事業者及び 行政の相互理解・信頼関係の確立と推進	64
V 食育を通じた食の安全・安心の確保（共通）	70
第4章 食育の推進	
1 食育を推進するうえでの課題	74
2 食育を推進していくための視点と基本的施策	78
3 「食育の推進」に関する施策の体系	80
4 具体的な施策の展開	82
I 「市民自らが育む食」への理解と健全な食生活の実践	82
II 健全な食生活を実践するための環境整備	91
III 市民運動としての食育の推進	100
IV くまもとの自然環境と食文化に根ざした食育の推進	106
第5章 総合的な計画推進のために	
1 計画の推進体制	116
2 計画の進行管理	116
3 推進体制のイメージ図	117
参考資料	120